



南山田小だより

続夏号

文責 校長 一木 高志

家庭での 取り組み

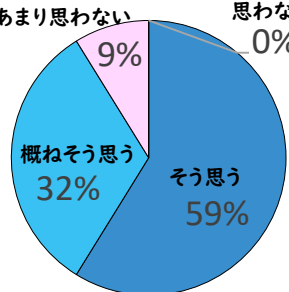
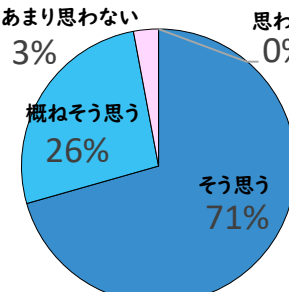
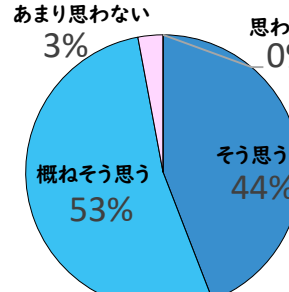
9月1日に行われた第1回学力向上会議の中で、委員の方々から家庭を中心とした取り組みを、南山田地区全体にも紹介したかどうか、協力をしていただけるのではとの意見をいただきました。

そこで、1学期の取り組み状況結果とともに、今年度の南山田小学校の「家庭の取り組み」を、裏面にはPTAが作成した「勇気が出る言葉」を、改めて掲載させていただきます、お知らせいたします。

2学期も取り組みをよろしくお願いします。

	家庭学習の見取りと承認	親子対話	勇気が出る言葉かけ
重点 目標	確かな知識と技能を身につけた児童の育成	新たな価値を創造し自ら考えを深め、表現できる児童の育成	自己肯定感を高め、自律する児童の育成
	週1回以上、 子どもの学習状況を把握し、励ましの声（勇気が出る言葉「やったね」「その調子」など）をかける。 	週1回以上、 親子の対話時間を設け、子どもの話を聞く。 	週1回以上、 「勇気が出る言葉」を意識して、子どもたちに声かけする。 
ポイント	・宿題を「やらされる」から「自分で取り組む」へ向かうように、チェックというより「応援」の気持ちを伝えるように心掛けるとよいと思います。	・短時間でもよい。内容のある対話を心がけましょう。 ・一方的に話すのではなく、共感し気持ちを受け止めて聴くこと（傾聴）が大切です。	「勇気が出る言葉」は、希望や前向きさを与えたり、行動を促したり、気持ちに寄り添ったりする言葉です。自分を信じる力にもなります。
言葉がけのいろいろ	◆「終わった？」ではない、やる気を引き出す言葉かけ ・宿題はどのくらい進んだ？ ・特にがんばったところを教えて。 ・宿題のことで何か困ってない？ ・さあ、一緒に見てみようか。 ・□□できて、すごいね。 ・今日の宿題、難しかった？それとも楽しかったかな？	◆傾聴のコツ ①ながら聞きはしない。（アイコンタクト） ②「なぜ」と問い詰めない。 ③待つ（沈黙を恐れない） ④急がず一緒に考える。 ・今、話しても大丈夫？ ・どうしたの？話してくれない？ ・〇〇はどうしたいの？ ・どうしたら良くなると思う？	◆励まし ・〇〇ならできる。 ・がんばってるね、ちゃんとみてるよ。 ・〇〇がいてうれしいよ。 ・失敗しても大丈夫。 ◆行動を促す ・少しずついいよ。 ・やってみよう。何かあれば助けるね。 ◆気持ちに寄り添う ・いやだったね。話してくれてありがとう。 ・くやしかったね。次はできるよ。

(2025年度1学期保護者アンケート結果より)

	家庭学習の見取りと承認	親子対話	勇気が出る言葉かけ
一学期の状況	 肯定的回答が91%にのぼり、保護者の方の協力・支えがアンケート結果からも分かります。見守りや認めは、子どもたちの学習の意欲につながっています。	 肯定的回答が97%にもなります。どのご家庭も工夫されて、お子さんとの対話の機会を作っていただいていることがわかります。	 これも肯定的回答が97%と高い。日頃から意識して声かけをしていたことがわかります。子どもたちの中からも、優しく温かな言葉が聞こえてきます。



～勇気が出る言葉～

かわいいね♡
かっこいいね！
すごいね！

ナイス！！
ファイト！！
やればできる！

大好きだよ♡
がんばってね！
よくできたね！
ありがとう



元気？
大丈夫？
どんまいどんまい
いっしょに～しよう！

おはよう
いってらっしゃい
こんにちは(^O^)
おやすみ(=_=)
おつかれさま♪

勇気が出る言葉は、言った側も、
言われた側も とても幸せになります。

